



新 Shinsho 翔

「熊野と防災」新宮市出前講座

11月2日(月)

4限目、キャリア実習室において2年生の選択科目「熊野と防災」で、8名が新宮市の出前講座を受講した。講師は、新宮市役所防災対策課の福嶋さんと加子坂さんで「風水害時の対応と避難所の開設」と題して講義が行われ、10月の台風18号に対する新宮市の対応や被害状況、避難所の開設に状況等について説明を受けた。生徒たちは、今回の台風に対する新宮市の事前対応として、避難所の開設や物品の確保についての取組を学習するとともに、その被害状況の説明を受けた。また、現在の自主防災組織の組織率(65.7%)を上げていく必要性、防災に対する自己意識を高めるとともに最悪な場合を考えた行動が大切なこと、自分の住んでいる地域の安全性や避難所の確認の必要性等について認識を深めた。



読みかたボランティア

11月13日・19日(金)

宇久井小学校2年生を対象に、3名の生徒がよみかたボランティアを行った。この日は本来参加すべき生徒が急遽変更になり、直前に決まったメンバーでのよみかたとなったが、落ち着いた発表に、児童も静かに聞き入っていた。また最後に行った手あそびも、持ち前の明るさと度胸で見事に児童を惹きつけ、大盛況のままに幕を閉じた。また19日には、太地小学校で1、2年生と7名のボランティア生徒が交流活動を行い、1年生には、『ぐりとぐらのおきやくさま』等の絵本、紙芝居『さるかに合戦』を、方2年生には、『でこちゃん』、『しろくまのパーター』等四冊の絵本をよみかたした。児童たちは常に真剣に聞いてくれた。



熊野古道現地学習

11月16日(月)

観光系科目を選択している生徒33名が、次世代育成事業の一環として、世界遺産熊野本宮館で熊野古道学習を行った。午前中は、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」についての講義を受け、午後は、熊野古道ウォークと道普請をおこなった。2年生にとっては、5月に引き続き2度目の道普請であり、生徒からは、「初回の道普請よりも、二回目の道普請の方が、より熊野古道の大切さを実感した」との声が多く聞けた。今回の体験学習を通して、文化遺産として熊野古道を保全していく意義を学ぶとともに、観光資源の活用と保全について学習を深めることができた。



第2回学校評議員会

11月18日(水)

評議員の皆さんによる校内の施設見学、授業参観のあと協議が行われた。七瀧校長は「今年の就職状況は、たいへん厳しい中、本校の内定率は77%(11月18日現在)と健闘している。これも地域の方々の協力のおかげ。さらに地域に根ざした学校を目指し様々な意見・提言をお願いしたい」と挨拶した。その後協議が行われ、地域にとけ込むためには、学校から先に地域にとけ込む努力が必要。そのためには、学校改革・先生の意識改革が大事など活発な意見が出された。



12月トピックス

3日(木)~8日(火) … 期末考査 9日(水) … 3年生対象講演(県経営者協会)

1日(金) … 3年生対象年金セミナー 14日(月) … 「熊野と防災」 17日(木) … 初任研授業研修

4日(木) … 水曜日の6限授業(補講) 25日(金) … 1~4限授業・午後清掃、終業式、LHR

